



# 『東北圏だより』

## 再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取組について

### 秋田県

秋田県は、原油や天然ガスの産出に加え、水力、地熱、石炭・石油火力発電所などを有するエネルギー供給県であり、再生可能エネルギーについては、平成23年に秋田県新エネルギー産業戦略を、平成28年には第2期秋田県新エネルギー産業戦略を策定し、導入拡大に向けた様々な取組を実施しております。

特に、風力発電については、風況に恵まれているという特徴を活かし、風況調査に対する補助や事業計画等の検討に対するアドバイザーの派遣など、導入に向けた取組を強化したことから、平成27年度末の都道府県別導入量において全国3位となっております。

また、陸上だけではなく、秋田港、能代港における洋上風力発電事業者の公募を実施し、事業者を選定したほか、港湾区域外の一般海域における着床式洋上風力発電に適した候補海域を設定するなど、洋上での事業化へ向けた支援を行っております。

この他にも、温泉事業者団体や地元自治体などと「地熱エネルギー多面的利用促進コンソーシアム」を設立し、地熱資源の利活用及び開発に対する理解の促進に取り組んでいるほか、県内における間伐材等の未利用材を燃料とした木質バイオマス発電の導入支援を行うなど、本県の有する豊富なポテンシャルを最大限に活用して、再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでおります。



▲エムウインズ八竜風力（三種町）

## 東北地域の持続的な発展を目指して

### 東北経済産業局

東北経済産業局では、本年6月に「東北経済産業局中期政策（2016年度～2018年度）」を策定しました。

この中期政策では、2020年に東北地域が目指す姿を「生産性を高めながら、将来に亘って持続的に付加価値を創造し、新たな市場を開拓していく地域産業を創出し、また、それを支える地域」とし、これを「2020年の将来像」として掲げています。

そして、この将来像の実現に向けて今後3年間で重点的に取り組む事項を5つの柱を軸にとりまとめました。

具体的には、①復興の加速（水産加工業の支援のための「三陸ブランド」の推進、広域連携による「震災復興ツーリズム」の促進）、②産業の高度化（ロボット・IoT等の活用促進、産学金官連携による競争力強化）、③地域資源の活用（東北地域が一体となった海外への魅力発信）、④経営支援体制の強化（認定支援機関等の経営支援機能の強化、人材確保・活用促進）、⑤エネルギー環境基盤の確立（地域資源の活用による電源地域の活性化）といった取組を推進してまいります。

多様化・複雑化する地域課題に対応していくためには、当局の取り組みだけではなく、外部の関係機関と認識を共有しながら有機的な連携体制を構築して、多面的な支援を行っていくことが必要不可欠です。「2020年の将来像」を地域で共有し、それぞれの機関が持っているツールを組み合わせることで、政策効果の最大化を図りたいと考えております。

2020年度には復興期間が終了し、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。東日本大震災から復興した東北地域の姿を世界に発信する絶好の機会と捉え、多くの人で賑わい、活気にあふれる東北地域を目指し、

地域一体となって中期政策の取り組みを進めてまいります。

「東北経済産業局中期政策」の詳細についてはこちらをご覧ください。

→<http://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/vision/16chuki.html>

# 「東北歴史まちづくりサミット2016in白河」を開催します

東北地方整備局・福島県白河市

現在、東北管内では、弘前市、白河市、多賀城市、鶴岡市、国見町、磐梯町及び桑折町（認定順）の7市町が歴史まちづくりの認定（歴史的風致維持向上計画の認定）を受け、それぞれが、地域の特性や特色を生かした歴史まちづくりに取り組んでいます。

前回（平成26年10月 弘前市において開催）の第1回のサミット時は、認定都市がまだ4市のみでしたが、それ以降、新たに認定を受けた3町が加わりました。

今般、7市町の首長が一堂に会し、地域間の連携を強化することにより、新たな地域活性化の活力を見出すとともに、より良い地域の発展に資することを目的に、白河市を会場に第2回目となる「東北歴史まちづくりサミット2016in白河」を下記のとおり開催します。

それぞれの地域のまちづくりに参考となるサミットですので、是非ご参加下さい。

○日 時 平成28年11月10日（木）  
13:00～16:40

○会 場 福島県白河市 白河文化交流館（コミネス）

○申込先 白河市建設部都市政策室まちづくり推進課  
メール [machi@city.shirakawa.fukushima.jp](mailto:machi@city.shirakawa.fukushima.jp)  
FAX 0248-24-1854  
（申込期限 11月4日、**当日参加も可能です。**）

「歴史まちづくり」とは・・・

城や神社・仏閣等の歴史的価値が高い建造物を所有する地域、また、そこでの歴史や伝統を反映した人々の生活や環境の維持・向上を図ることを通じ、後世に継承するための魅力あるまちづくりの事です。

**東北歴史まちづくりサミット 2016 in 白河**

平成28年11月10日（木）  
13:00～16:40（開場12:30） **入場無料**

白河文化交流館（コミネス）小ホール [白河市会津町1-17]

○基調講演  
早稲田大学大学院創造理工学研究所 建築学専攻 教授 有賀 隆 氏

○パネルディスカッション  
歴史まちづくりに取り組む7市町  
（弘前市・白河市・多賀城市・鶴岡市・国見町・磐梯町・桑折町）

参加ご希望の方は、下記事項を記載の上、Eメール又はFAXにてお申し込み下さい。

■応募項目  
①氏名(ふりがな) ②住所(市町村名のみ) ③申込区分(個人・会社・団体・行政関係・その他) ④連絡先(電話、携帯番号、E-mail等)

■事前参加受付  
白河市建設部都市政策室まちづくり推進課  
E-Mail [machi@city.shirakawa.fukushima.jp](mailto:machi@city.shirakawa.fukushima.jp) FAX 0248(24)1854

■申し込み期限 **平成28年11月4日(金)**

■当日参加「要」  
※お申し込みの欄にない個人情報は、当サミットプログラムの申込みのためだけに使用し、その他の目的での利用はいたしません。  
◎ご来場の方へ「履歴公開 要配慮」の無料入場券を配布いたします。  
(有効期限 11.10～11.30)

主催 / 国土交通省東北地方整備局・白河市  
共催 / 弘前市・多賀城市・鶴岡市・国見町・磐梯町・桑折町  
後援 / 福島県

**プログラム**

13:00 歓迎セレモニー  
13:15 開会あいさつ  
13:25 「全国における歴史まちづくりの動き」  
国土交通大臣官房審議官 徳野 良明 氏

13:40 基調講演  
「人々の移動・流動が創り出す交流社会において歴史まちづくりが考えるべきこと」  
早稲田大学大学院創造理工学研究所 建築学専攻 教授 有賀 隆 氏

14:35 パネルディスカッション  
「歴史まちづくりを通じた地方創生」

16:40 閉会

◆開催市・白河市より◆

『南湖公園・翠葉苑』紅葉ライトアップ  
開催期間  
10月24日(月)～30日(日)  
及び11月10日(木)～13日(日)  
(日没から午後8時)  
※組し、10月27日(木)は除く  
※ライトアップ期間中の入場は無料です。  
※詳しくは情報公開 翠葉苑 0248-23-6888 までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先  
◆国土交通省東北地方整備局建設部計画・建設産業課 TEL:022-225-2171(代表)  
◆白河市建設部都市政策室まちづくり推進課 TEL:0248-22-1111(代表)

## 「東北圏広域地方計画シンポジウム」の開催報告について

東北圏広域地方計画推進室

8月18日に開催した「東北圏広域地方計画シンポジウム」について、開催報告をホームページに掲載しました。こちらからご覧ください。（出演者の発言概要等もご覧いただけます。）

→<http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/sympo/28sympo01.html>

## 編集後記

10月に入り暑さも落ち着いて、秋の気配が感じられるようになりました。宮城県松島町では、今年も松島紅葉ライトアップが開催されるようです。円通院庭園を中心に天麟院などの紅葉がライトアップされます。とても見事だと耳にしたので、今からとても楽しみにしています。是非皆様もご家族やご友人と訪れて秋の夜長を楽しんでみてはいかがでしょうか。

季節の変わり目ですので、体調を崩さぬようご自愛下さい。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp